

公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会
事業報告

平成25年度（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(事業報告)	(頁)
I 概況	1
II 事業活動	3
1 概要	
III 法人の管理・運営	6
1 理事会	
2 評議員会	
3 監査	
4 その他	
IV 附属明細書	9

I 概 況

長寿社会についての意識啓発及び高齢者の生きがいと健康づくりの推進等に関する事業を行い、もって「ぬくもりと活力のある長寿社会」の建設に資することを目的に、幅広い取り組みを積極的に進めてきた。

とりわけ、シルバー大学校では、防災コースの新設やICTコースの拡充、専門講座の時間数拡大等の新たな講座編成を行い、併せて、かねてより希望の多かった既卒業者の再入学制度を導入した。

また、同大学院でも新たに防災講座を開講し、入学者17名全員が徳島県地域防災推進員の資格を取得し、卒業となったところである。

加えて、シルバー大学校・同大学院卒業生の地域活動への参加支援及び既に活動されている方の活性化を目的とし、各OB会の組織化支援・地域活動支援を行ったほか、「生きがいづくり推進員」は3年に一度の登録更新を実施し、登録者へは、指導者養成実践講座（健康づくりシニアサポーター養成事業）の実施や「シニア応援サイト」による情報の発信など、推進員個々のスキルアップや活動の場の更なる創出に努めたところである。

そのほか、情報誌「いのち輝く」、ホームページなどにより長寿社会に関する様々な情報の提供や、全国健康福祉祭へ選手等の派遣、高齢者の方々の福祉、健康、法律などの様々な相談に対応してきたところである。

さらに、県健康福祉祭及びサテライト大会（県南・県西部）の開催、関西広域連合構成府県との結びつきを活かした、域内シルバー大学校等連携事業への参加、シルバー大学校に通学困難な地域における訪問講座の開催や、様々な理由によりシルバー大学校へ通学が困難な方への放送講座の開講、パソコンの活用力を高め地域での支え合い体制づくりに資するパソコン教室の実施等に取り組んだ。

今後とも、創意工夫をしながら、各種事業を着実に実施し、高齢者の方々が、いきいきと充実した生活を送れるような社会の実現に向け、更なる努力を重ねていく必要がある。

法人の設立年月日

平成元年7月1日

定款に定める目的

この法人は、長寿社会についての意識啓発及び高齢者の生きがいと健康づくりの推進等に関する事業を行い、もって「ぬくもりと活力のある長寿社会」の建設に資することを目的とする。

定款に定める事業内容

- (1) 明るい長寿社会づくりについての普及啓発に関する事業
- (2) 高齢者の生きがいと健康づくりを推進するための組織づくりに関する事業
- (3) 高齢者の社会活動の振興のための指導者等の育成に関する事業
- (4) 高齢者総合相談センターの受託運営に関する事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

所管官庁に関する事項

徳島県監察局評価検査課

主たる事務所

徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合センター2階

職員に関する事項（平成26年3月31日現在）

職員数 14名

役員等に関する事項（平成26年3月31日現在）

<評議員>

氏名		現職
阿部謙一郎	非常勤	徳島県中小企業団体中央会専務理事
伊勢悦子	非常勤	徳島県民生委員児童委員協議会会長
岩崎啓二	非常勤	徳島県市長会事務局長
岡田好史	非常勤	一般社団法人徳島県銀行協会会長
小田隆伸	非常勤	徳島商工会議所事務局長
神子稔邦	非常勤	徳島県青年連合会事務局長
川長光男	非常勤	徳島県町村会常務理事
栗尾銭二郎	非常勤	徳島県健康生きがいきづくりアドバイザー協議会会長
齋藤伸一	非常勤	徳島県農業協同組合中央会常務理事
佐野正孝	非常勤	国立大学法人徳島大学理事（地域連携担当）副学長
藤田育美	非常勤	一般財団法人徳島県婦人団体連合会会長
増野朋也	非常勤	特定非営利活動法人とくしま県民活動プラザ常務理事兼事務局長
松本聡	非常勤	徳島県商工会連合会事務局長
森田昇	非常勤	徳島県生命保険協会事務局長
森本佳広	非常勤	日本労働組合総連合会徳島県連合会事務局長

<代表理事>

氏名		現職
飯泉嘉門	非常勤	公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会理事長 徳島県知事

<業務執行理事>

氏名		現職
竹田伸也	常勤	公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会常務理事

<理事>

氏名		現職
飯泉嘉門	非常勤	徳島県知事
伊丹一夫	非常勤	公益財団法人徳島県老人クラブ連合会会長
梶浦豊子	非常勤	社会福祉法人徳島県社会福祉協議会評議員
佐藤修斎	非常勤	一般社団法人徳島県歯科医師会
篠原静	非常勤	公益社団法人徳島県看護協会監事
竹田伸也	常勤	公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会常務理事
中村真由美	非常勤	一般社団法人徳島県医師会事務局職員
中山昌作	非常勤	公益財団法人徳島県体育協会副会長
二島幸輝	非常勤	日本放送協会徳島放送局営業部部長
坂東喜夫	非常勤	徳島県シルバー大学校徳島校OB会顧問
船越知	非常勤	一般社団法人徳島新聞社総務局総務部長
南博	非常勤	一般社団法人徳島県薬剤師会顧問
矢田等	非常勤	四国放送株式会社常務取締役
米田潤二	非常勤	特定非営利活動法人徳島県レクリエーション協会会長

<監事>

氏名		現職
床桜英二	非常勤	徳島県会計管理者
板東豊彦	非常勤	株式会社徳島銀行取締役常務執行役員

II 事業活動

1 概要

(1) 公1

情報誌の発行や高齢者の生きがいと健康づくりの推進、世代間・地域間交流などを目的とするイベントの開催などを通じて、広く県民に明るい長寿社会づくりについての啓発を行う事業

ア 長寿社会啓発事業（高齢者糖尿病予防対策推進受託事業を含む。）

情報誌「いのち輝く」を年間3回（夏号（平成25年5月15日）、秋号（9月15日）、春号（1月15日））各4、200部発行。長寿社会啓発ビデオの無料貸し出し及び当協議会のHP等を通じて、長寿社会関係の様々な情報を収集・提供することにより、明るい長寿社会づくりの取組みについて広く県民に対して意識の高揚を図った。

イ 徳島県健康福祉祭の開催及び全国健康福祉祭への選手等派遣事業

高齢者自身が参加するスポーツ・文化の交流イベントや、小学生からの長寿社会に関する作文・絵の募集、高齢者美術展などを盛り込んだ「徳島県健康福祉祭（徳島県との共催）」を平成25年10月19日を中心に徳島市で開催。来場者数（スポーツ・文化交流大会約3,300人）、出品数（小学生の絵193点、小学生の作文1,472点、高齢者美術展160点）となった。また県南部・県西部において「県健康福祉祭サテライト大会」を開催し、「地方からの参加者にも身近で親しみやすい」大会とし、事業効果を県内すみずみに波及させるよう取り組んだ。当大会開催により高齢者の生きがいと健康づくりを推進するとともに、県民を挙げて「ぬくもりと活力のある長寿社会づくり」に取り組む必要性を普及啓発した。

また、高齢者を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の祭典である「全国健康福祉祭（厚生労働省、開催地自治体、（一財）長寿社会開発センター共催）」が高知県で平成25年10月26日から10月29日までの4日間開催され、136名の選手団を派遣した。

<事業実施の財源>

長寿社会啓発事業（高齢者糖尿病予防対策推進受託事業含む。）は、情報誌を関係機関等への無償配布以外に1部300円で一般書店等での販売も行っているが、その収益により経費を支弁できないため、徳島県から「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費補助金」及び「高齢者糖尿病予防対策推進業務委託金」をもって支弁している。

徳島県健康福祉祭の開催及び全国健康福祉祭への選手等派遣事業は、徳島県から「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費補助金」により実施。

(2) 公2

高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるよう、能力の再開発を支援するとともに、社会活動の振興のための指導者として活躍できる人材を育成する事業

ア シルバー大学校の開講事業

高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるよう、能力の再開発を支援し地域福祉を推進するリーダーを養成する事業。平成25年度で第33期を迎え、徳島校、鳴門校など県下各地に9校で講座を開講。福祉、社会経済などの教養科目と歴史文化、ICT、防災などの選択科目を学習。学習時間は、年間30日、120時間。527名が入学し、496名が卒業（卒業率94.1%）した。入学金は無料で、授業料は年額5千円。

イ シルバー大学校大学院の開講事業

高齢者自身が生きがいを持って生活し、地域社会の重要な担い手として活躍できる環境づくりを図るため、シルバー大学校の卒業生を対象にさらに専門的で高いレベルの学習機会を提供し、卒業後は社会貢献活動を推進する人材を養成する事業。平成16年度より開始し平成25年度で第10期を迎えた。歴史文化講座、健康スポーツ講座、ICT講座(4教室)の3講座に新たに防災講座を加え、徳島市、鳴門市、阿南市、北島町、東みよし町で開講。学習時間は、年間40日160時間。134名が入学し、130名が卒業（卒業率97.0%）した。入学金は無料で、授業料は年額1万円。

ウ 高齢者の生きがいづくり活動促進事業（シニア生きがいづくり活動応援事業含む）

シルバー大学校大学院の卒業生を対象に、同大学院等で培ってきた知識、技術、経験等を生かし地域貢献、社会貢献を推進する人材を「生きがいづくり推進員」として当協議会に登録。登録者は当協議会が主催するシルバー大学校の講師、補助講師をはじめ、県下小学校のICT授業支援、阿波十郎兵衛屋敷での観光ボランティアガイド活動など幅広い活動を行った。

また、この生きがいづくり推進員制度をより充実するため、登録者データベースの充実、生きがいづくり推進員の活動の紹介や関係機関が利用しやすいデータベースの公開（シニア応援サイトの更新）及び、スキルアップ等の支援として指導者養成実践講座（健康づくりシニアサポーター養成事業(15名を健康づくりシニアサポーター認定)）等を実施。

また、ひとり暮らし等の高齢者が住み慣れた地域の中で安心して暮らせるよう、ICTを活用した日常的な支え合い活動の体制作りを推進することを目的に、阿南市、吉野川市、美馬市、牟岐町の4市町で5日間のパソコン講習会を実施。受講生は阿南市19名、吉野川市30名、美馬市19名、牟岐町は各20名で、会場は各地域のパソコン設置会場である、阿南市富岡公民館、吉野川市文化研修センター、美馬市脇町庁舎、牟岐町海の総合文化センターで実施。

インターネットの楽しみ方、デジタルカメラの画像取り込み、文字入力等について学習した。なお、当事業で使用したパソコンは、設置会場と連携し、地域の高齢者、関係団体等へ貸し出しを行い、地域での高齢者同士のパソコンを通じた交流による支え合い体制づくりの推進を図った。

また、地域訪問講座「シルバー大学校がやってくる」を上勝町、三好市（山城町）で開催。住み慣れた地域で学びと交流の機会を提供することで、同地域・同世代の高齢者同士の和が築け、高齢者の人・地域との繋がりを促進できた。なお、今後も「高齢者学びの過疎地」を対象に当協議会が自主企画する地域訪問講座事業を継続的に実施する。

当事業の実施については、県からの補助金（高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費補助金）及び県からの委託金（重点分野雇用創出事業委託金）をもって支弁した。

エ 活き活きシニア放送講座開講事業

シルバー大学校等に通学が困難な高齢者等に対し、ケーブルテレビを活用した「自宅で受講できる高齢者向け講座」を提供し、「生きがいづくり」や「地域活動のきっかけづくり」としていただいた。

平成25年10月1日から平成26年3月31日までの期間に、8講座（1回50分、シルバー大学校等の講座の中から選定委員により選定）を県内全域のケーブルテレビを利用し放送した。受講者数は79名で、概ね半分以上の講座を視聴し、講座の内容や感想文を受講手帳に記載・提出した者に終了認定証を交付。受講料は年間1,000円。

オ 関西広域連合・シルバー大学校等連携事業

関西広域連合における構成府県との結び付きを活かし、各府県のシルバー大学校等と連携を図り、在学生と卒業生と交流を促進することにより、高齢者が有する「知識」、「能力」の更なる向上を図るとともに、これまでにない「県境を越えた新たな仲間づくり」や、「新たな生きがいづくり」につなげることを目的に、大阪府での域内シルバー大学校卒業生等の学び・情報交換・交流の場へ参加した。兵庫、奈良、京都からも参加があり、各県との情報交換、本県シルバー大学校等卒業生の活動の紹介等を行った。

<事業実施の財源>

シルバー大学校及び大学院開講事業、活き活きシニア放送講座開講事業においては、受講生よりそれぞれ年額授業料（5千円、1万円、1千円、共に入学金は無料）を徴収し、事業費に充当しているが、不足分については徳島県から「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費補助金」をもって支弁している。

また、高齢者の生きがいづくり活動促進事業（シニア生きがいづくり活動応援事業含む。）においては、国の緊急雇用制度を活用するとともに、徳島県から「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費補助金」をもって支弁している。関西広域連合・シルバー大学校等連携事業は、徳島県から「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費補助金」により実施。

(3) 公3

高齢者やその家族の広範多岐にわたる相談需要に適切に対応できるよう、専門家の活用や関係機関との連携により、無料で行う相談・助言事業
--

ア 徳島県高齢者総合相談センター受託運営事業

徳島県から高齢者総合相談センターの運営を受託し、広範多岐にわたる高齢者やその家族の心配ごと・悩みごとに適切に対応できるよう、当センター相談員による一般相談をはじめ、こころ、法律、医療、税金の相談などの専門的な相談には保健師、弁護士、医師、税理士などの専門相談員を配置し、無料で適切な助言を行った。

電話、来所、電子メールによる相談受付を実施。フリーダイヤルを設置。

所長1名（あいランド次長が兼務）、相談員1名（非常勤）の2名体制。一般相談の他、専門相談日を決め専門相談員5名（保健師、弁護士、医師、看護師、税理士）で対応。

平成25年度相談実績791件（一般相談600件、専門相談191件）（来所相談114件、電話相談677件）（専門相談の内訳：こころ87件、法律56件、内科医療14件、健康・介護・虐待18件、税金16件）

<当該事業の受託理由>

当協議会は、平成元年の設立以来、官民一体となって明るい長寿社会づくりに向けた各種事業を推進することにより、高齢福祉に関する専門性や実績を有するとともに、県、市町村をはじめとする関係機関・関係団体との間に緊密なネットワークを構築し、広域化、多様化、複雑化する高齢者等からの相談需要に適切な対応が図れる体制が整備されている。

また、円滑な相談業務が行えるよう、当協議会の執務室とは別の独立した事務室を構え、事務室内にも仕切りのある相談室を配置していることや、一般相談員2名を常勤的に配備するとともに、法律相談等の専門的な相談にも対応できる体制（専門相談員の配置）を整備し、高齢者及びその家族の多様な相談にワンストップで対応できる体制を有していることなどから、円滑な相談業務が実施可能である。

<事業実施の財源>

全額、徳島県から「徳島県高齢者総合相談センター運営事業委託金」によって支弁している。

Ⅲ 法人の管理運営

1 理事会

第5回理事会

開催日	平成25年5月17日（金）
場所	徳島県庁
報告事項	理事の職務の執行状況について
議決事項	①平成24年度事業報告及び決算について ②定時評議員会の招集決定及び提出議案について
その他	書面評決について

第6回理事会

開催日	平成26年3月18日（火）
場所	徳島県庁
報告事項	理事の職務の執行状況について
議決事項	①平成25年度補正予算について ②平成26年度事業計画及び予算について ③経営改善計画（問題解決プラン）について ④評議員会の招集決定及び提出議案について
その他	書面評決について

決議の省略

日時	平成25年5月31日（金）
議決事項	代表理事の選定について

理事長 飯泉 嘉門

副理事長 乾 和雄

決議の省略

日 時 平成25年7月1日(月)
議決事項 評議員会へ提案する監事の選任に係る理事会案について
選任(案) 板東 豊彦

決議の省略

日 時 平成26年3月31日(月)
議決事項 ①評議員会へ提案する役員等の選任に係る理事会案について
(理事)
選任(案) 森本 哲生
(監事)
選任(案) 安芸 通彦
(評議員)
選任(案) 細井 孝子

決議の省略

日 時 平成26年4月1日(火)
議決事項 ①代表理事の選任について
(副理事長)
選任 森本哲生

2 評議員会

第5回評議員会

開催日 平成25年5月31日(金)
場 所 徳島県立総合福祉センター
報告事項 平成24年度事業報告について
議決事項 ①平成24年度決算について
②役員等の選任について

第6回評議員会

開催日 平成26年3月27日(木)
場 所 徳島県立総合福祉センター
報告事項 ①平成25年度補正予算について
②平成26年度事業計画及び予算について
③経営改善計画(問題解決プラン)について
議決事項 ①役員等の選任について
②役員の報酬について
その他 書面評決について

決議の省略

日 時 平成25年7月1日（月）
議決事項 監事の選任について

選任 板東 豊彦

決議の省略

日 時 平成26年4月1日（火）
議決事項 ①役員等の選任について

(理事)

選任 森本 哲生

(監事)

選任 安芸 通彦

(評議員)

選任 細井 孝子

3 監査

実施日・場所

- ・床桜監事：平成25年5月8日（水）（徳島県庁会計管理者室）
- ・吉岡監事：平成25年5月9日（木）（徳島銀行本店）

監査対象 平成24年度

4 その他

経営改善計画（問題解決プラン）の策定

ア 策定した規定の種類

公益財団法人とくしま”あい”ランド推進協議会経営改善計画（問題解決プラン）

イ 策定の趣旨

第1期、第2期運営改善プランの取り組み結果や、その後の社会経済情勢の変化等を踏まえ、行財政改革の基本方針となる「とくしま未来想像プラン～徳島からの新たな挑戦～」に示された「外郭団体等の問題解決プランの推進」に、取り組むこととする。

ウ 計画期間

平成26年度から28年度までの3年間

エ 基本方針

- (1)社会的・地域的ニーズに的確に対応した事業の実施と職員の能力向上等、人材育成を図るとともに、高齢者の社会貢献活動を事業の推進に活用する。
- (2)効率的な業務執行体制と収入財源の確保により、経営基盤の強化を図る。
- (3)ホームページを活用し、わかりやすい積極的な広報を行うなど、情報公開の更なる推進を図る。

IV 附属明細書

平成25年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項が存在しないので作成しない。

平成26年5月

公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会